

京都市消防局訓令甲第9号

各 部
消 防 学 校
各 消 防 署

京都市消防局における地方公務員法第15条の2第1項第5号に規定する標準職務遂行能力についてを次のように定める。

平成28年3月31日

京都市消防局長 杉本 栄一

京都市消防局標準職務遂行能力について

京都市消防局（以下「局」という。）における標準職務遂行能力は、下表左欄に掲げる標準的な職にある職員で、中欄に掲げる階級にある職員には、右欄に掲げる標準職務行動の発揮を求めることとする。

標準的な職	階 級	標 準 職 務 行 動
局 長	消 防 正 監	局の運営責任者 1 時代の流れを読み、全市的な視点から、将来を見据えた局の政策方針を策定し、実現する。 2 消防局長を補佐し、効率的かつ効果的に局を運営する。 3 局の職員を統率し、組織をけん引する。
		局の運営推進の責任者 1 時代の流れを読み、局の政策方針を踏まえて組織目標を設定し、達成する。 2 消防局長並びに消防局次長、監察監及び理事（以下「局長等」という。）を補佐し、局の運営を推進するとともに、責任を持って部等を総合的に運営する。 3 部等の職員の士気を高めるとともに、局の中心となって、組織を支える。
		責任感 自己の役割を認識し、責任感と使命感を持って業務に取り組むとともに、コンプライ

部長 (消防正監の階級にある者)	消防正監	具	アンスの風土を醸成する。
		能 力 開 発	業務に関する知識及び技術並びに新鮮な情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力向上に向け、日々研さんする。
		的 方 針 遂 行	市民感覚やコスト意識を持って、将来を見据えて全庁的な視点から方針を立て、業務を進める。
		務 目 標 達 成	説明責任を果たし、他部局との的確に調整を行うとともに、目標達成に向けて粘り強く対処する。
		行 組 織 運 営	組織目標を共有化させ、部下の士気を高めるとともに、適宜、局長等を補佐する。
		動 人 材 育 成	後継者の育成と部下職員の能力向上の視点に立って、助言及び指導を行う。
部長 (消防監の階級にある者)	消防監	消防署（以下「署」という。）等の運営推進の責任者 1 時代の流れを読み、局の政策方針を踏まえて組織目標を設定し、達成する。 2 局長等を補佐し、局の運営を推進するとともに、責任を持って署等を運営する。 3 署等の職員の士気を高めるとともに、局の中心となって、組織を支える。	
		具 責 任 感	自己の役割を認識し、責任感と使命感を持って業務に取り組むとともに、コンプライアンスの風土を醸成する。
		能 力 開 発	業務に関する知識及び技術並びに新鮮な情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力向上に向け、日々研さんする。
		的 方 針 遂 行	市民感覚やコスト意識を持って、将来を見据えて全庁的な視点から方針を立て、業務を進める。

		務 行 動	目 標 達 成	説明責任を果たし、他部局との的確に調整を行うとともに、目標達成に向けて粘り強く対処する。
			組 織 運 営	組織目標を共有化させ、部下の士気を高めるとともに、適宜、局長等を補佐する。
			人 材 育 成	後継者の育成と部下職員の能力向上の視点に立って、助言及び指導を行う。
課 長 (消防監の 階級にある 者)	消防監	消防分署（以下「分署」という。）等の運営の責任者		
		1 上位目標を踏まえ、必要な情報を収集したうえで、組織目標を設定し、分署等の職員と共有のうえ、達成する。		
		2 局長等及び部長を補佐し、責任を持って分署等を円滑かつ確実に運営する。		
		3 研修や日常業務を通じて分署等の職員の意欲及び能力を高めるとともに、活気とチームワークのある職場風土を構築する。		
		具 体	責 任 感	自己の役割を認識し、責任感と使命感を持って業務に取り組むとともに、コンプライアンスの風土を醸成する。
		的 開 発	能 力	知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力開発を行う。
		職 遂 行	方 針	市民感覚やコスト意識を持って、全庁的な視点から方針を立て、業務を進める。
		務 達 成	目 標	説明責任を果たし、的確に調整を行うとともに、目標達成に向けて粘り強く対処する。
行 運 営	組 織	組織目標を共有化させ、風通しの良い、チームワークのある職場風土を構築する。		
動 育 成	人 材	職員一人一人の意欲を高め、能力を引き出す。		

課長補佐	消防 司令	具 体 的 開 発 職 務 行 動		って業務に取り組むとともに、コンプライアンスの風土を醸成する。	
			能 力 開 発	知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力開発を行う。	
			方 針 遂 行	市民感覚やコスト意識を持って、他の部署とも連携を図りながら、計画を立て、業務を進める。	
			実 務 調 整	組織目標達成に向けて、業務の進捗状況を把握し、実務を点検する。	
			組 織 運 営	上司及び部下と協力し、チームワーク良く、業務を円滑に進める。	
係 長	消防 司令	係等の業務の統括者			
		1 組織目標の達成のため、業務の遂行計画を設定し、係等の職員と共有のうえ、進捗管理を行う。			
		2 課長を補佐し、責任を持って係等の業務を的確に統括する。			
		3 日常業務を通じて係等の職員に助言及び指導を行うとともに、円滑な職場運営を図る。			
		具 体 的 開 発 職 務 行 動	責任感	自己の役割を認識し、責任感と使命感を持って業務に取り組むとともに、コンプライアンスの風土を醸成する。	
				能 力 開 発	知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力開発を行う。
				方 針 遂 行	市民感覚やコスト意識を持って、他の部署とも連携を図りながら、計画を立て、業務を進める。
				実 務 調 整	組織目標達成に向けて、業務の進捗状況を把握し、実務を点検する。
				組 織 運 営	上司及び部下と協力し、チームワーク良く、業務を円滑に進める。

作 業 長	<p>高度な知識等を活用する業務の推進者，作業班等の統括者</p> <p>1 組織目標の達成のため，担当する業務を高度な知識や豊富な経験をいかして的確に遂行する。</p> <p>2 課長補佐及び係長を補佐し，作業班等の業務を的確に統括するとともに，率先して職務に取り組む。</p> <p>3 同僚への助言及び提案を行うとともに，周囲に働き掛けて円滑な職場運営を図る。</p>	
	具	<p>責任感 自己の役割を認識し，責任感を持って，業務に取り組むとともに，コンプライアンスを実践する。</p>
	体	<p>能力 知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに，自己の能力開発を行う。</p>
	的	<p>組織 上司及び部下と協力し，チームワーク良く，業務を円滑に進める。</p>
	職	<p>方針 市民感覚やコスト意識を持って，他者と連携を図りながら，主体的に業務を進める。</p>
	務	<p>遂行 担当する職務について，業務の実施計画の点検と進捗状況の把握，個々の実務の点検及び確認，正確な資料作成，分かりやすい説明，制度や事業の企画立案，方針や制度を踏まえた調整，市民や事業者との関係構築，正確で確実な対応等の実務を遂行する。</p>
	<p>高度な知識等を活用する業務の推進者</p> <p>1 組織目標の達成のため，担当する業務を高度な知識や豊富な経験をいかして的確に遂行する。</p> <p>2 課長補佐及び係長を補佐し，率先して職務に取り組む。</p> <p>3 同僚への助言及び提案を行うとともに，周囲に働き掛けて円滑な職場運営を図る。</p>	

主任 (消防司令補の階級にある者)	消防司令補	4 災害現場においては状況を的確に把握し、上位階級者の下命により又はこれがないときには自らの判断により自隊の活動方針を決定し、指揮及び消防活動を行う。		
		具	責任感	自己の役割を認識し、責任感を持って、業務に取り組むとともに、コンプライアンスを実践する。
		体	能力開発	知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力開発を行う。
		的	組織貢献	円滑な職場運営に向け、積極的にコミュニケーションを図り、協力し合いながら、業務の改善に取り組む。
		務	方針遂行	市民感覚やコスト意識を持って、他者と連携を図りながら、主体的に業務を進める。
		行	実務遂行	担当する職務について、正確な資料作成、分かりやすい説明、制度や事業の企画立案、方針や制度を踏まえた調整、市民や事業者との関係構築、正確で確実な応対等の実務を遂行する。
主任		<p>高度な知識や経験等を活用する業務の推進者</p> <p>1 組織目標の達成のため、担当する業務を高度な知識や豊富な経験をいかして的確に遂行する。</p> <p>2 課長補佐、係長及び主任（消防司令補の階級にある者）を補佐し、率先して職務に取り組む。</p> <p>3 同僚への助言及び提案を行うとともに、周囲に働き掛けて円滑な職場運営を図る。</p> <p>4 災害現場においては上級階級者の下命を受け、状況に応じてより効果的な消防活動を行い、上位階級者がいないときには自らの判断により下位階級者の指揮及び消防活動を行う。</p>		

(消防士長の階級にある者)	消防士長	具	責任感	自己の役割を認識し、責任感を持って、業務に取り組むとともに、コンプライアンスを実践する。		
			体的	能力開発	知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力開発を行う。	
				組織貢献	円滑な職場運営に向け、積極的にコミュニケーションを図り、協力し合いながら、業務の改善に取り組む。	
			務	行	方針遂行	市民感覚やコスト意識を持って、他者と連携を図りながら、主体的に業務を進める。
					実務遂行	担当する職務について、正確な資料作成、分かりやすい説明、制度や事業の企画立案、方針や制度を踏まえた調整、市民や事業者との関係構築、正確で確実な対応等の実務を遂行する。
			主任 (消防吏員以外の消防職員)		高度な知識や経験等を活用する業務の推進者 1 組織目標の達成のため、担当する業務を高度な知識や豊富な経験をいかして的確に遂行する。 2 課長補佐及び係長を補佐し、率先して職務に取り組む。 3 同僚への助言及び提案を行うとともに、周囲に働き掛けて円滑な職場運営を図る。	
具	責任感	自己の役割を認識し、責任感を持って、業務に取り組むとともに、コンプライアンスを実践する。				
	能力開発	知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力開発を行う。				
的	組織貢献	円滑な職場運営に向け、コミュニケーションを図り、協力し合いながら、業務の改善				

		職		に取り組む。
		務	方針 遂行	市民感覚やコスト意識を持って、他者と連携を図りながら、主体的に業務を進める。
		行	実務 遂行 動	担当する職務について、正確な資料作成、分かりやすい説明、制度や事業の企画立案、方針や制度を踏まえた調整、市民や事業者との関係構築、正確で確実な応対等の実務を遂行する。
係 員 (消防士長の階級にある者)	消 防 士 長	業務の担当者		
		1 組織目標の達成のため、上司の指示を理解し、担当する業務を正確かつ迅速に遂行する。		
		2 職務に必要な知識、技能を習得し、職場における意思疎通を十分に図る。		
		3 周囲の職員と協調するとともに、積極的に同僚に助言を行うなど、円滑な職場運営に参画する。		
		4 災害現場においては上級階級者の下命を受け、状況に応じてより効果的な消防活動を行い、上位階級者がいないときには自らの判断により下位階級者の指揮及び消防活動を行う。		
		具	責任感	自己の役割を認識し、責任感を持って、業務に取り組むとともに、コンプライアンスを実践する。
的	能力 開発	知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力開発を行う。		
職	組 織 貢 献	職員同士協力し合って、組織目標の達成に貢献する。		
務	方 針 遂 行	市民感覚やコスト意識を持って、他者と連携を図りながら、積極的に業務を進める。		
行	実 務	担当する職務について、正確な資料作成、分かりやすい説明、制度や事業の企画立案、		

		動 遂 行	方針や制度を踏まえた調整，市民や事業者との関係構築，正確で確実な応対等の実務を遂行する。
係 員 (消防副士長の階級にある者)	消 防 副士長	業務の担当者	
		1 組織目標の達成のため，上司の指示を理解し，担当する業務を正確かつ迅速に遂行する。	
		2 職務に必要な知識，技能を習得し，職場における意思疎通を十分に図る。	
		3 周囲の職員と協調するとともに，積極的に同僚に助言を行うなど，円滑な職場運営に参画する。	
		4 災害現場においては上級階級者の下命を受け，状況に応じてより効果的な消防活動を行い，消防士の指導を行う。	
		具 体 的 職 務 行 動	責 任 感
能 力 開 発	知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに，自己の能力開発を行う。		
組 織 貢 献	職員同士協力し合って，組織目標の達成に貢献する。		
方 針 遂 行	市民感覚やコスト意識を持って，他者と連携を図りながら，業務を進める。		
実 務 遂 行 動	担当する職務について，正確な資料作成，分かりやすい説明，制度や事業の企画立案，方針や制度を踏まえた調整，市民や事業者との関係構築，正確で確実な応対等の実務を遂行する。		
		業務の担当者	
		1 組織目標の達成のため，上司の指示を理解し，担当する業務を正確かつ迅速に遂行する。	

係 員 (消防士の階級にある者)	消防士	<p>2 職務に必要な知識、技能を習得し、職場における意思疎通を十分に図る。</p> <p>3 周囲の職員と協調するとともに、同僚に助言を行うなど、円滑な職場運営に参画する。</p> <p>4 災害現場においては上位階級者の下命を受け、災害状況に応じた消防活動を行う。</p>		
		具 体 的 職 務 行 動	責 任 感	自己の役割を認識し、責任感を持って、業務に取り組むとともに、コンプライアンスを実践する。
			能 力 開 発	知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力開発を行う。
			組 織 貢 献	職員同士協力し合って、組織目標の達成に貢献する。
			方 針 遂 行	市民感覚やコスト意識を持って、他者と連携を図りながら、業務を進める。
実 務 遂 行	担当する職務について、正確な資料作成、分かりやすい説明、制度や事業の企画立案、方針や制度を踏まえた調整、市民や事業者との関係構築、正確で確実な応対等の実務を遂行する。			
係 員 (消防吏員以外の消防)	<p>業務の担当者</p> <p>1 組織目標の達成のため、上司の指示を理解し、担当する業務を正確かつ迅速に遂行する。</p> <p>2 職務に必要な知識、技能を習得し、職場における意思疎通を十分に図る。</p> <p>3 周囲の職員と協調するとともに、同僚に助言を行うなど、円滑な職場運営に参画する。</p>			
	具	責 任 感	自己の役割を認識し、責任感を持って、業務に取り組むとともに、コンプライアンスを実践する。	

職員)	体的 職 務 行 動	能力 開 発	知識及び技術並びに情報を業務に有効活用するとともに、自己の能力開発を行う。
		組 織 貢 献	職員同士協力し合って、組織目標の達成に貢献する。
		方 針 遂 行	市民感覚やコスト意識を持って、他者と連携を図りながら、業務を進める。
		実 務 遂 行	担当する職務について、正確な資料作成、分かりやすい説明、制度や事業の企画立案、方針や制度を踏まえた調整、市民や事業者との関係構築、正確で確実な応対等の実務を遂行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この訓令は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成28年4月1日において現に消防副士長の階級で主任の職にある者については、この訓令の規定に基づく主任（消防士長の階級にある者）の職の標準職務行動の発揮を求めるものとする。

(消防局総務部人事課)